令 和 7 年 度 着 手

牛ケ原地区　農業用用排水施設事業　変更計画概要書

【基幹水利施設ストックマネジメント事業】

（令和８年度　第１回変更）

事 業 主 体　　福　井　県

令和７年度着手　農業用用排水施設事業　牛ケ原地区　(県営基幹水利施設ストックマネジメント事業)

変　更　理　由　書

Ⅰ．変更の内容

１．事業施工に係る地域の変更

（１）地積　　(単位：ha)

市町村名／地目		田	畑	計
(〃) 大野市： 牛ケ原	変更前	94.9	－	94.9
	変更後	94.9	－	94.9
	増・減	－	－	－

２．主要工事計画の変更

（１）計画受益面積　　(単位：ha)

項　目		田	畑	その他		計
用排水施設	変更前	94.9	－	－		94.9
	変更後	94.9	－	－		94.9
増・減		－	－	－		－

（２）事業量

項　目	変更前	変更後	増・減	備　考
揚水機場工	1.0 箇所	1.0 箇所	－ 箇所	
計	1.0 箇所	1.0 箇所	－ 箇所	

（３）事業費　　(単位：千円)

区　分	変更前	変更後	増・減	備　考
揚水機場工	65,100	85,000	19,900	
測量試験費	4,900	5,000	100	
事業費計	70,000	90,000	20,000	
総事業費	70,000	90,000	20,000	

変更前　令和 6年度価格
変更後　令和 8年度価格

内　訳

自　然　増	3,000
工 法 変 更	17,000
計	20,000

（４）工事予定期間

(〃)
着　工　　令和　7　年度
(〃)
完了予定　　令和　10　年度

Ⅱ．計画変更を必要とする理由

１．事業施行に係る地域の変更

当初電動機についてはベアリングの交換のみを想定していたが、絶縁抵抗値の測定など詳細を調査した結果、本体の交換が必要と判断されたため更新機器を増としたい。

２．主要工事計画の変更

揚水機場工　　（単位：千円）

工法変更

・当初電動機についてはベアリングの交換のみを想定していたが、絶縁抵抗値の測定など詳細を調査した結果、本体の交換が必要と判断されたため更新したい。	N=1.0式	17,000
【自然増】		3,000
	合計	20,000

３．事業費変更の理由

項　　目	増　　減
自　然　増	3,000　千円
工 法 変 更	17,000　千円
計	20,000　千円

第１章　　目　　的　　変　更　な　し

本地区は、大野盆地の北西部に位置する農業地域である。この一帯は、水源の乏しさと湿田土壌で10a区画の水田であったことで大型機械などの農業政策に対応するため、平成元年より土地の集積による高度利用と大規模化を目的としたほ場整備が実施され平成13年度に完了した。近年、農業基盤の重要な施設が整備後20年以上経過していることから老朽化に伴う施設の故障が度々発生している。揚水機場が地域農業の最重要施設であり、営農に支障をきたす状況となっている。

よって、本事業により基幹的農業用施設の機能回復を図っていくことで、これら施設の継続的な維持・保全管理を確保し、農業生産活動の省略化と持続的な地域農業の展開と安定を目指す。

第２章　　地域の所在及び現況

第１節　　地　　域　　変　更　な　し

大野市　：　牛ケ原　地係

第２節　　地　　積

事業名 / 地目 / 市町村名	区画整理事業 田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
大野市	(〃) 94.9	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 94.9	
計	(〃) 94.9	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 94.9	

第３節　　現　　況

１．気　　象　　変　更　な　し

観測所名	大野観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均
観測期間	H 23 ～ R 2	5月 ～ 9月	10月 ～ 4月	(年間)
平均気温(℃)		22.7	7.1	13.6
平均降水量(mm)		204	192	197
平均降水日数(日)		11	16	14
根雪期間		12月 ～ 3月		－ 日間
無霜期間		4月 ～ 11月		－ 日間
最多風向	WNW (西北西)	最大風速		14.2 m/s

２．地　形　地　質　　変　更　な　し

大野市は福井県一の面積を誇り、奥越中央に位置する福井県東側の玄関口となっている。白山連邦の支脈に囲まれた盆地からなり、豊かな自然に恵まれた環境である。
公共交通機関は、福井市からＪＲ越美北線が連絡しており、幹線道路は、国道158号線が市の東西、国道157号線が南北を走り、2線を中心に県道、市道によって道路網が整備されている。
当牛ケ原地区は、大野盆地の北西部に位置し、市街地より1.5㎞の農業地域である。地形は東西に1/300、南北に1/50の勾配をなし、地区の標高は160～200ｍで山沿いには傾斜があるものの地区全体としては平坦地である。

３．水　利　状　況　　変　更　な　し

牛ケ原地区一帯は水源が乏しく、湿田土壌で10ａ区画の水田であったため、平成元年より土地の集積による高度利用と農業生産の大規模化を目的としたほ場整備が実施され平成13年度に完了した。事業の特徴としては、大区画ほ場、道路、パイプライン整備により土地条件の向上を行い、更に水源不足対策として、地区内に揚水機場、調整池、ため池、ファームポンドを設置し、送水系パイプラインによる合理的な水管理システムを構築し、農地の汎用化と効率的な生産体制による農業コストの低減を図り、農業経営の安定化を達成していった。

４．営　農　状　況　　変　更　な　し

本地区の営農状況は、水稲を中心に一部畑利用を行うものある。近代的営農技術に対応した用水改良とほ場整備等を行ったことで、大型機械化作業体系の確立を図るなど農業の近代化を推進し、労働力の節減と生産性の向上により農業経営の安定化を図っている。特に大規模生産組織である農事組合法人「アバンセ乾側」などは意欲的に農業生産活動が行われており、集積率も高い農業地域となっている。

５．地域環境の概略　　変　更　な　し

大野盆地を南から北へ貫流している九頭竜川は、真名川、清滝川、赤根川をあわせて流れ、これら河川上流では九頭竜峡・真名峡の渓谷美をつくり、約4,000haの農地を潤している。そのため、本市域の83％を占める森林がもたらす「水」は、環境庁指定名水百選の「御清水」に代表されるように、本市の大きな魅力となっており、これらにより自然環境についても、豊かで多様な生物が生息可能となっている。中には、環境省が指定する貴重な生物をはじめ、自然の豊かさの指標となる生物や市民生活と密着なかかわりを有する生物が生息している。
なお、冬期には多量の降雪があり、豪雪地帯対策特別措置法による特別豪雪地帯に指定されている。

第３章　基　本　計　画

第１節　計　画　の　要　旨

１．要　　旨　　変　更　な　し

機能診断調査及び評価の結果を踏まえ、用水施設の機能診断に基づく機能保全対策を実施し、既存施設の有効利用や長寿命化を図ることで、用水の有効利用と安定供給及び、作業の効率の高い農地利用集積の拡大や耕作放棄地の減少に努め、農業経営の安定化に寄与する。

２．事業別面積

土地利用区分 / 事業目的	区画整理事業 旧田 (ha)	区画整理事業 新規田 (ha)	区画整理事業 輪換耕地 (ha)	区画整理事業 普通畑 (ha)	区画整理事業 その他 (ha)	計 (ha)	備考
(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	
用排水路	94.9	－	－	－	－	94.9	
	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	
計	94.9	－	－	－	－	94.9	

第２節　営　農　計　画　　変　更　な　し

品質・価格の競争時代に対応するため、営農の合理化及び生産性の向上を図り、良質・低コスト米づくり及び麦を中心とした水田農業の確立に努める。

第３節　環境との調和への配慮　　変　更　な　し

本事業を施工するにあたり、排気ガス対策型建設機械、低騒音・低振動型建設機械の使用に努め、大気環境へ配慮する。また、ドライ施工を原則とし、天候に応じた工程により、水質の保全や水環境及び生態系等に十分な配慮を行う。施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第４節　　計画基本事項

１．揚水機場　　変　更　な　し

牛ケ原コントロールセンター　－－－－ 大門送水ポンプ、尾永見送水ポンプ、吐出し弁
真空ポンプ、封水ポンプの更新

第４章　工事又は管理の要領

第１節　　工　事　の　内　容

１．農業用用排水施設事業　　変　更　な　し

揚 水 機 場 整 備　・・・　牛ケ原ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀｰ　１式

第２節　　予　定　工　期

（　〃　）　　（　〃　）
令和　７　年　～　令和　１０　年

第３節　　管　理　の　要　領　　変　更　な　し

本事業により設置された農業用施設は、大野市土地改良区が管理する。

第５章　　換地計画の要領

第１節　　換地計画樹立の必要性

変　更　な　し
該　当　な　し

第２節　　換地計画樹立の基本方針

変　更　な　し

１．従前の土地の地積の基準

該　当　な　し

変　更　な　し

２．農用地集団化の方法

該　当　な　し

区分／換地区	地帯別グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置選択	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い

変　更　な　し

３．非農用地の換地方針

該　当　な　し

４．清　算　の　方　法

変　更　な　し
該　当　な　し

第３節　　土地改良法第５条第６項に規定する国有地等の編入に係る地積　　変　更　な　し
該　当　な　し

単位:ha

区分 / 用途	機能交換に係る土地				一般	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計	国有地	
道路						
水路						
計						

第４節　　換地処分の時期に関する特則　　変　更　な　し
該　当　な　し

第６章　費　用　の　概　算　　（　６　）

令和　８　年度価格（千円）

工　　区	事　業　費	事　務　費	総 事 業 費	備　　考
全　工　区	（　70,000） 90,000	－	（　70,000） 90,000	
計	（　70,000） 90,000	－	（　70,000） 90,000	

第７章　効　　用　　（　６　）

令和　８　年度価格（千円）

区　　分		年総効果（便益）額	年増加農業所得額	備　　考
食料の安定供給の確保に関する効果		（　58,581） 63,935	（　3,964） 4,433	
	作物生産効果	（　52,390） 56,698	（　〃　） －	
	営農経費節減効果	（△　4,109） △　4,355	（　〃　） －	
	維持管理費節減効果	（　10,300） 11,592	（　3,964） 4,433	
農村の持続的発展に関する効果		（　〃　） －	（　〃　） －	
		（　〃　） －	（　〃　） －	
農村の振興に関する効果		（　〃　） －	（　〃　） －	
		（　〃　） －	（　〃　） －	
多面的機能の発揮に関する効果		（　〃　） －	（　〃　） －	
		（　〃　） －	（　〃　） －	
その他効果		（　9,940） 10,155	（　〃　） －	（　1.84） 総費用総便益比：　1.91
	国産農産物安定供給効果	（　9,940） 10,155	（　〃　） －	（　〃　） 総所得償還率：　2.6％
計		（　68,521） 74,090	（　3,964） 4,433	（　〃　） 増加所得償還率：　－％

第８章　他の事業との関連　　変　更　な　し

該　当　な　し

第９章　計　画　概　要　図

別　添　図　面　参　照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1　事業費の負担区分の予定

（　　７０，０００）　　（　７０，０００　　）
1）総　事　業　費　　９０，０００　千円也［事業費　９０，０００ 千円也　］

2）負　担　区　分

（千円）

区分			補助率	金額	計
国庫補助		事業費	（　〃　） 50.00　％	（　３５，０００） ４５，０００	（　３５，０００） ４５，０００
		事務費	（　〃　） －　％	（　〃　） －	
県費		事業費	（　〃　） 25.00　％	（　１７，５００） ２２，５００	（　１７，５００） ２２，５００
		事務費	（　〃　） －　％	（　〃　） －	
分担金	大野市	事業費	（　〃　） 12.50　％	（　８，７５０） １１，２５０	（　８，７５０） １１，２５０
		事務費	（　〃　） －　％	（　〃　） －	
		事業費	％		
		事務費	％		
	地元	事業費	（　〃　） 12.50　％	（　８，７５０） １１，２５０	（　８，７５０） １１，２５０
		事務費	（　〃　） －　％	（　〃　） －	
計					（　７０，０００） ９０，０００

2　地元負担の予定基準　　変更なし

地積割で賦課する

3　負担団体　　変更なし

大野市
大野市土地改良区

牛ケ原地区　基幹水利施設ストックマネジメント事業によって造成された施設の予定管理方法

1　　管　理　者　　変更なし

大野市土地改良区

2　　管理すべき施設の種類　　変更なし

種　　類	名　　称	位　　置	施　設　の　規　模	備　　考
施設機械	牛ケ原ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀｰ	大野市牛ケ原	両吸込渦巻ポンプ（大門送水ポンプ）φ250×φ150 6.93m3/min×48m×90kw	
施設機械	牛ケ原ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀｰ	大野市牛ケ原	(両吸込渦巻ポンプ)（尾永見送水ポンプ）φ250×φ150 6.66m3/min×40m×75kw	

3　　貯水、放流、取水又は排水に関する基本的事項　　変更なし

揚水機場からため池へ送水し、自然圧を利用して幹線管路を経て各ブロックへかんがいを行う。

4　　管理に要する費用の概算

（1）費　用　の　概　要

種　　類	年　間 維持管理費	耐用 年数	耐用年数間の 合　計	10 a 当り 年負担額	備　　考
施設機械	(　3,868　) 4,433 千円	(　〃　) 20	(　77,360　) 88,660 千円	(　4,076　) 4,671　円	(　〃　) A=　94.9 ha

（2）負　担　の　方　法　　変更なし

受益の地積割りに賦課する。

5　　その他管理方法に関する基本的事項　　変更なし

施設の管理は大野市土地改良区が定める管理規程に基づいて行う。

一　定　地　域　調　書

（　変　更　な　し　）

牛　ケ　原　地　区

【変更なし】

一　定　地　域　調　書

農業用用排水施設事業　　基幹水利施設ストックマネジメント事業　牛ケ原地区

市町名	大　字	字番	地域						
大野市	牛ケ原	4	92	93	97	101	103	104	105
			108	109	111	112	113-1	113-2	116
			118	119	120	122	123	124	152-1
			152-2						
		8	6						
		15	55	57	58	61	63	65	67
			81						
		17	122						
		21	41	42	43	45	46	47	48
			53	55	56	57	58-1	58-2	58-3
			59	60	61-1	61-2	62	63	64-1
			64-2	65	66-1	66-2	67	68-1	68-2
			68-3	68-4	68-5	69	70	71	72
			74	75-1	75-2	75-3			
		27	41	42					
		28	42	43-1	43-2	45			
		31	134	136	138	140			
		35	41	43	44-1	44-2	45-1	45-2	46
			47	48	49-1	49-2	50	51-1	51-2
			52-1	52-2	53-1	53-2	53-3	53-4	54
			55						
		38	32	33	34	35	36-1	36-2	37
			38	39	40	41	42	43-1	43-2
			44-1	44-2					
		49	50	52	54	55	58		
		50	31	34	35				
		71	31	32-1	32-2	32-3	33	34	35-1
			35-2	36	37	38-1	38-2	39	40-1
			40-2	41	42-1	42-2	42-3	43	44
			45	46	47	49	50-1	50-2	51
			52	57	58	59			
		77	92	93					
		80	31	32	35	36-1	36-2	37	38-1
			38-2	38-3	38-4	40	41	42-1	42-2
			43	44	45-1	45-2	45-3	46	47

【変更なし】

一　定　地　域　調　書

農業用用排水施設事業　　基幹水利施設ストックマネジメント事業　牛ケ原地区

市町名	大　字	字番	地　域						
大野市	牛ケ原	80	48	49	50	51			
		94	63	66					
		103	11-1	11-2	12	13	14	15	19
			20	21-1	21-2	21-3	22	23	24
			27	28	29	30	31	32	33
			34	35	36	37	39	40	41
		104	15-1	16-1	17				
		106	31	33	34	35	36	37-1	37-2
			38	39	43	44	45	46	47
			48	49	50	51	54		